13の有形文化財

マップ片手に散策してみよう！

国登録有形文化財

① 旧宮崎酒造店舗兼主屋

◆慶應3年頃

明治25年創業・宮崎酒造。元は江戸期に売薬と酒造業で財をなした小泉屋。参勤交代の本陣も務めた。

国登録有形文化財

② 城戸家住宅主屋

◆明治初期

江戸末期に神田屋（じんでんや）の屋号で味噌・醤油の製造販売、金物・荒物屋を営んだ。

国登録有形文化財

③ 廣野家住宅主屋

◆大正3年

入母屋造の屋根と出格子が特徴的。内部は数奇屋風の書院造。堂宮大工棟梁・岩城庄之丈建築。

国登録有形文化財

④ 廣野医院

◆昭和7年

木造洋風建築。正面外壁はモルタル仕上げで昭和初期の流行様式。平成9年まで開業。

国登録有形文化財

⑤ 菅田家住宅主屋

◆明治初期

正面の上げ下げの部戸（しとみど）が特徴的な商家建築。元当主が平成22年に修復を行い往時の姿が蘇った。

国登録有形文化財

⑥ 田中小学校旧本館

◆昭和11年

平成26年に現校舎が完成するまで校舎として使用。内部の随所に当時流行したアールデコ風の意匠が。アニメ「おおかみこどもの雨と雪」の舞台にも。

もっと詳しく知りたい方はこちら！

建築物は現在も居住や事業所に使用されていたり、個人の方が管理されていたりします。散策の際は社会通念上のルールやマナーを守り、近隣の方に迷惑をかけないよう心がけましょう。

国登録有形文化財

⑦ 有隣庵（旧土肥家住宅）主屋

◆慶應3年

慶應2年の大火の翌年に土肥家によって建築された。建築年代が明確な町屋では滑川最古である。

国登録有形文化財

⑧ 養照寺本堂

◆大正5年

真宗大谷派。幕末期本陣を務めた当地きっての有力寺院。幾度の大火で消失後、岩城庄之丈を棟梁として再建。

滑川市指定文化財

⑨ 養照寺本陣

◆天保13年（1842）頃

幕末期に加賀藩主が参勤交代時に宿泊休憩する「本陣」を務めた当時の状態がほぼそのまま残る稀少スポット。

国登録有形文化財

⑩ 小沢家住宅店蔵

◆明治後期

呉服商を営んだ小沢家。総二階建、黒漆喰で塗られた壁に観音開き扉を持つ重厚な土蔵造。

国登録有形文化財

⑪ 滑川館本館

◆明治20年

明治から大正にかけて滑川町長や県議会議員を歴任した加藤甚右衛門邸として建築。昭和21年以降は旅館として運営されていた。

国登録有形文化財

⑫ 櫟原神社本殿

◆明治5年

旧滑川町の東端部にあり別名「東の宮」。現在の本殿の脇障子などの彫刻は井波の彫刻師・田村与八郎（屋号は番匠屋）が手掛けた。

国登録有形文化財

⑬ 櫟原神社拝殿

◆大正4年頃

岩城庄之丈の晩年の設計。虹梁や木鼻の絵様、中備えの墓股、向拝妻飾りの笈形付大瓶束などの細部の意匠にも優れている。